

広島県知的障害者福祉協会
平成29（2017）年度事業報告

はじめに

近年、社会福祉と位置づけされる事業種が拡大し、社会福祉法人の在り方が問われ、社会福祉法人の位置づけは大きく変化することが求められている。今日、障害福祉においては、ニーズが多様化・複雑化し、高い公益性と非営利性を備えた社会福祉法人としての意義は、他の事業主体では対応できない様々な福祉ニーズを充足することにより、地域に貢献していくことにある。

昨年の相模原市の障害者支援施設における事件以後、共生社会の推進に向けた取り組みの方向性として、障害者差別解消法の理念の周知・啓発、「心のバリアフリー」の充実、障害者の地域移行や地域生活の支援等が示されるとともに、施設として、職員が心身共に疲弊して孤立することなく、充実感や誇りを抱いて働ける環境作りや職員研修の更なる推進と心の健康管理の強化等による職場環境の改善に向け、この1年、本協会としても、各種の情報提供を行うとともに、会員相互の連携を図りながら、真摯に対応していかなければならない。

そして、平成30年4月に向けた施設種別の課題に取り組むと同時に、これらの動勢を熟慮した上で、支援部会活動と業務部会活動の連携を図りながら、各種の課題検討、研修計画、政策提言などを積極的、効果的に実施することが必要とされている。

施設や地域で生活している障害（特に知的障害、発達障害）のある人たちの尊厳が守られ、豊かな生活が送れるよう、確固たる倫理観を持って支援にあたりるとともに、会員相互に協力し合いながら、知的障害福祉の推進に努めなければならない。

1. 基本方針

すべての本協会会員が、共通理解の下、連携した活動を通して、個々の必須課題として意識し、能動的に参加し、利用者、地域、行政などにとっての本協会の有用性を高める為に、以下の活動を基本とする。

- (1) 障害の有無にかかわらず、誰もが暮らしやすい共生社会の実現を目指して地域社会全体の思いが繋がり合う環境作りに貢献する。
- (2) 本協会への積極的な加入を促進し、活動基盤の強化を図る。
- (3) すべての会員が本協会への帰属感が持てるように、活動内容や活動方法について、配慮を行う。
- (4) 障害福祉理念や関係施策、更には障害福祉を取り巻く社会情勢などについて、意欲的に研鑽する場を設ける。
- (5) 支援の対象である人たちのニーズや思い、そして地域の人々の障害福祉についての意識や意向、また、新たな障害福祉の必要性について把握し、認識するように努める。（実態調査やニーズ調査など）
- (6) 支援に携わる人材（職員）の資質（専門性と意識）の向上と職場定着を図るための効果的な対策を講じる。
- (7) 個々の会員の経営課題等の改善に資する情報交換、人材交流、相互協力を促進する。

- (8) 社会福祉法人における地域貢献、経営改善、人材確保、県行政への要望等について、広島県社会福祉協議会をはじめとして、関係諸団体との連携を下に、対応策の検討を行う。
- (9) 本協会会員は、(公財) 日本知的障害者福祉協会の定款及び会員準則等を遵守しなければならない。

2. 重点課題

- (1) 平成30年4月にむけた各種改正・変更事項について、各支援部会において、各種の検討を行う。
- (2) 平成28年4月の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」の理念を周知・啓発に向けた各種の研修等を実施する。
- (3) 福祉人材確保の対策について検討協議を行う。
- (4) 障害者芸術文化の参画・協力する。
 - ① あいサポートアート展開催にむけて、協力・参加する。
 - ② 障害者舞台芸術祭(仮称)の企画・実施する。
- (5) 広島県障害者スポーツ協会との協力態勢の構築を図る。
- (6) 平成29年度における本協会主催、若しくは本協会支援部会主催の各種研修会については、成功裡に迎えられよう、会員相互の協力を図る。
- (7) 支援部会、業務部会の活動の活性化を図るために、それぞれに委員を登用し、幅広い人材の参画により協会活動を実現させる。
- (8) 本協会の事業が確実に実施され、成果を上げるように、適時適切に、その事業の進行管理を行い、必要に応じて会員相互の協力態勢の構築や事業計画の再検討などの善後策を講じる。
- (9) 本協会の活動に関係深い関係団体等とは、従来に引き続き連携を図る。
 - ① 広島県社会福祉協議会
 - ② 広島県身体障害者施設協議会
 - ③ 広島県社会福祉施設経営者協議会
 - ④ 広島県就労振興センター
 - ⑤ 広島県手をつなぐ育成会
 - ⑥ 広島県発達障害者支援センター
 - ⑦ すべての障害児者と市民を結ぶひろしま県民会議
 - ⑧ 広島県災害時公衆衛生チーム
 - ⑨ 広島県障害者スポーツ協会
 - ⑩ その他

なお、本協会主催の学習会等において、他団体等にも共通する内容のものについては、参加人数の余裕のある場合には参加を呼びかけることを検討する。

3. 事業

- (1) 総会・役員会の開催
- (2) 各支援部会の開催 (詳細については後述する。)
 - [児童発達支援部会] [障害者支援施設部会] [日中活動支援部会]
 - [生産活動・就労支援部会] [地域支援部会] [相談支援部会]

[支援スタッフ部会]

- (3) 各業務部会の開催 (詳細については後述する。)
[政策・調査・研究部会] [人権・倫理部会] [人材育成・研修部会]
[事業部会] [総務部会]
- (4) 第59回中国・四国地区知的障害関係職員研究協議会への参加
平成29年7月13日・14日
島根県県民会館中ホール (松江市殿町)
- (5) 第49回中国地区知的障害関係施設長会議への参加
平成29年4月20日・21日
岡山市 (ホテルメルパルク岡山)
- (6) 平成29年度全国知的障害関係施設長等会議への参加
平成29年7月4日・5日
東京都・国際フォーラム
- (7) 第55回全国知的障害関係職員研究大会への参加
平成29年9月27日～29日
名古屋国際会議場
- (8) 広島県障害者陸上競技大会開催事業の実施
平成29年5月14日
東広島運動公園陸上競技場
- (9) 第57回中国地区知的障害関係施設親善球技大会への参加
平成29年9月23日
米子市東山運動公園 (どらドラパーク米子) 市民体育館ほか
- (10) 第17回全国障害者スポーツ大会「えひめ大会」へのソフトボール競技中国・四国地区予選会への参加
平成29年5月27日・28日
- (11) 第17回全国障害者スポーツ大会「えひめ大会」への参加
平成29年10月28日～30日
愛媛県総合運動公園陸上競技場 (ニンジニアスタジアム) ほか
- (12) 第6回きらっと光る人生を考える研究大会の実施
平成29年12月16日
広島県健康福祉センター大ホール
- (13) 第43回広島県知的障害者福祉大会 (一般大会)
第16回はつらつ大会 (本人大会)
平成29年11月19日
大竹市総合市民会館・大竹市総合体育館
- (14) (公財) 日本知的障害者福祉協会主催
「第4回全国小・中学生障がい福祉作文コンクール」 募集協力
- (15) 県内3地区親善行事 (西部・中部・東部) 球技大会等の開催
- (16) (公財) 日本知的障害者福祉協会主催における各支援部会の全国・地区会議・大会等への参加

- (17) 施設長会議の開催
平成30年3月13日 広島ガーデンパレス
- (18) あいサポートアート展への参画・協力
平成29年10月31日～11月5日
広島県立美術館地下1階県民ギャラリー
平成29年12月19日～12月24日
ふくやま美術館1階ギャラリー・ホール
- (19) 平成29年度「あいサポートふれあいコンサート in ひろしま」
の企画・開催 (広島県身体障害者施設協議会共催事業)
平成29年10月9日
広島市東区民文化センター 大ホール)

4. 総括

支援の質の向上にむけて、県自立支援協議会主催の各養成研修のグループリーダー等の職員派遣協力を行うとともに、広島県身体障害者施設協議会・広島県精神障害者支援事業所連絡会・広島県障害者相談支援事業連絡協議会の4団体による研修体制の構築に向けた在り方についての検討をすることが出来た。また、ふれあいコンサート in ひろしまの開催初年度にあたり、成功裡に実施することが出来た。

昨年に引き続き、障害者総合支援法施行後3年を目途とした検討事項については、日本知的障害者福祉協会と連携する事で、各種の提言を広く行うことができた。

今後も、障害者虐待を未然に防止する努力が必要であるという観点から、活動を行う必要がある。

支援部会

■児童発達支援部会

方針：乳幼児期、学齢期、青年前期における切れ目の無い支援と保健、医療、保育、教育、就労支援等と連携した地域支援体制を図る観点から、個々の課題やその家族の状況及びニーズに応じて、障害児支援等の質の向上を図ることを目指す。そして、通所支援、入所支援の中で、各種の研修会等を重ねながら、施設機能の多様性や職員の専門性の向上を図り、併せて、障害児相談支援の充実について、各種の検討協議を行う。

通所施設分科会

方針：通所支援（①児童発達支援、②放課後等デイサービス、③保育所等訪問支援）事業の実施に答え得る専門性の向上に向けて、各種の情報交換や研修会を企画・実施する。

具体的には、①支援の質の保障 ②家族支援の重要性 ③保育所等との併行通園に係る支援及び保育所等訪問支援の充実 ④学校との連携について ⑤保護者の就労支援等について、⑥障害児等療育支援事業など各種の情報交換を行う。

併せて、障害児相談支援における事業体制の整備協力、質の保障、相談スキルの向上等について、各種の検討協議を行う。

入所施設分科会

方針：入所支援・通所支援（①児童発達支援、②放課後等デイサービス）事業の実施に答え得る専門性の向上に向けて、各種の情報交換や研修会を企画・実施する。

また、18歳以上の利用者に対して、成人施設への入所調整（5カ年の移行計画／平成30年3月まで）と生活介護事業を行う中での現状把握と充実に向けた各種の検討協議を行う。

具体的には、①一定の目的を持った短期入所（有期限・有目的）について ②強度行動障害を有する児童への対応強化について ③児童養護施設との連携 ④小規模入所における課題について、各種の検討協議を行う。

- (1) 施設長会議の実施（部会事業）（分科会事業）
- (2) 職員研修会の企画／実施（部会事業）（分科会事業）
- (3) 各種団体との意見交換会の企画／実施（部会事業）

1. 施設長会議

(1) 児童発達支援部会第1回施設長会議

期日：平成29年5月11日

会場：福山すこやかセンター

参加者：20人

内容：①平成28年度事業報告・決算について

②平成29年度の事業について ア) 通所支援 イ) 入所支援

③情報交換

(2) 児童発達支援部会第2回施設長会議

期日：平成30年2月16日

会場：ホテル広島ガーデンパレス

参加者：20人

内容：①平成30年度児童発達支援部会事業計画及び予算(案)について

②平成30年度報酬改定について

(3) 児童相談所等との意見交換会

=県内のこども家庭センター・広島市児童相談所と

児童通所支援・児童入所支援の意見交換会=

期日：平成30年2月16日

会場：ホテル広島ガーデンパレス

参加者：24人

内容：①知的障害のない発達障害の方の支援について

②18歳からの移行先を広島県こども家庭センター、広島市児童相談所との連携について

③困難ケース（ひきこもり、虐待、家庭内の不和、暴力、保護者の精神疾患などによる通園・通学が困難となり療育・教育が継続できないなど）について、児童相談所や関係機関との連携、情報共有、役割分担の在り方、地域ネットワークの現状と課題などについて

④全国の児童相談所長会議等での直近の情報等について

2. 通所施設分科会

【公開療育研修会】 実施施設：広島市こども療育センター育成園

期日：平成29年11月10日

会場：広島市こども療育センター育成園

参加者：22人

内容：①公開療育見学 ②研修会

【講演会】 実施施設：草笛学園

期日：平成29年7月15日

会場：備後地域地場産業振興センター

参加者：182人

内容：「幸せの予感」～子どものねがいが読めないとき～

「希望で導く 支援者の連携を支えるもの」

【講演会】 実施施設：ひかり園

期日：平成29年12月8日

会場：備後地域地場産業振興センター

参加者：170人

内容：「子どものかわいさに出あう」

～子どものかわいさや健気さに共感する喜びを！～

3. 入所施設分科会

【施設長会議及び支援スタッフ会議】

[第1回] 期日：平成29年4月

会場：「ゼノ」やまびこ学園児童部

参加者：施設長、支援スタッフ等

内容：①法人説明・施設見学

②-1 施設長会議

ア) 児童福祉法改正等 法制度の変更への対応 イ) 意見交換

②-2 支援スタッフ会議

ア) 自己紹介 イ) 日常の支援について情報・意見交換

[第2回] 期日：平成29年9月8日

会場：庄原さくら学園

参加者：施設長、支援スタッフ等

内容：①法人説明・施設見学

②-1 施設長会議

ア) 自立支援システム構築について イ) 意見交換

②-2 支援スタッフ会議

ア) 自己紹介 イ) 日常の支援について情報・意見交換

[第3回] 時期：平成30年2月2日

会場：似島学園高等養護部

参加者：施設長、支援スタッフ等

内容：①法人説明・施設見学

②-1 施設長会議

ア) 県児童発達支援部会：児童発達相談所との意見交換

イ) 平成30年度 児童施設分科会の事業計画

ウ) 報酬改定について エ) その他

②-2 支援スタッフ会議

ア) 自己紹介 イ) 日常の支援について情報・意見交換

事業総括

通所施設、入所施設分科会とも各種の意欲的な研修会を実施し、県内の児童発達支援における共通理解や支援の質の向上に貢献することが出来た。

■障害者支援施設部会

方針：入所施設からの退所は、入院・死亡を理由とする割合が年々高まっており、自宅やグループホーム等へのいわゆる地域移行者数は、減少傾向にあることが国の調査集計結果で示されている。こうした状況を踏まえた上で、今後4年間でH28年度末時点の入所施設者数の9%以上を地域移行とし、併せて施設入所者数を2%以上削減することを基本とする考え方が案として示されている。また、年齢階層別では65歳以上の入所者が20%近く増加し、区分6の利用者も20%以上増加していることが明らかになっている。こうしたことから、可能な範囲での医療的なケア、高齢者支援、そして強度行動障害を含む支援度の高い利用者への対応が入所施設に改めて求められていると言える。今年度も引き続き、入所施設としての使命が果たせるよう、会員施設間の情報共有と施設個々の資質向上に取り組む。

1. 広島県障害者支援施設部会施設長会議

【第1回】

時期：平成29年6月22日

内容：①「障害者支援施設入所調整改善」について説明・意見交換

広島県障害者支援課主幹：仁田千枝 氏

②広島県障害児入所施設の現状報告

ゼノやまびこ学園 施設長 川元信之 氏

③平成29年度部会研修会企画検討について

◆第4回保健衛生・給食担当職員合同研修会

◆第4回広島県支援施設セミナー

◆事前アンケートの実施について

開催準備状況

④その他・意見交換

場所：広島市南区役所別館

出席者：30人

【第2回】

時期：平成30年2月15日

内容：①「障害者支援施設入所調整改善」について説明・意見交換広島県障害

者支援課主幹：仁田千枝 氏

②平成29年度事業総括

③平成30年度事業計画・予算（案）について

④中国地区施設長会議（島根県）について

⑤任期満了にともなう部会長の選任

場所：広島県社会福祉会館

出席者：23人

2. 保健衛生・給食担当職員合同研修会（担当事務局：春日寮）

時期：平成29年9月21日

内容：テーマ：猛威を振るう各感染症への対策を考える

①講演「食中毒予防管理の徹底」

講師 福山市保健所 生活衛生課
薬剤師 山内比奈子 氏

②講演「集団生活における感染症予防と対処の方法」

講師 広島県立障害者リハビリテーションセンター
感染管理認定看護師 田中淳一 氏

③意見交換

場所：福山市生涯学習プラザ

参加者：73人

3. 平成29年度広島県支援施設セミナー（担当事務局：六方学園）

時期：平成29年10月20日

内容：テーマ：高齢知的障害者の生活を考える

①講演「障害福祉制度・報酬等の課題と今後の方向性」

講師 日本知的障害者福祉協会政策委員会
委員長 河原雄一 氏

②講演「東広島市における障害福祉の現状と課題」

講師 東広島市障害福祉課
障害福祉係長 篠原裕次郎 氏

③事例発表： 大日学園・いくせい・六方学園成人部

場所：東広島芸術・文化ホール くらら

参加者：84人

事業総括

入所施設に求められる役割・使命が果たせるよう、部会施設間の情報共有と施設個々の資質向上を目指し、研修会並びに県障害者支援課との情報交換等を実施した。研修会は何れも各施設共通の課題でもあり、現場に生かすことのできる内容とすることができた。また、県障害者支援課と入所調整の改善について意見交換の場を設け、制度の運用等について理解を深める場とすることができた。今後、他の部会と連携した形の研修会を実施する等、部会活動の幅を広げたい。

■日中活動支援部会

方針：日中活動支援部会には生活介護を中心とした事業所が多く関係している。

重度・高齢の障害者などの支援内容を工夫しながら、日中活動の場としての役割を充実していくことが重要となっている。とりわけ自分の意思をうまく表現することが困難な

人たち一人ひとりの意思決定の可能性を大切にした活動を支援するため、会員施設間で連携を深めながら今後の日中活動における支援の在り方や利用者満足度向上を図るため、情報の収集や情報交換に努めながら充実した各種研修会を行っていく。

1. 日中活動支援部会、生産活動・就労支援部会、地域活動支援部会 合同研修

期 日 平成29年6月7日

会 場 広島県社会福祉会館 会議室1

参加者 49人

内 容 意思決定支援について

講 師 社会福祉法人 あゆみの家 理事
社会福祉士

(公財)日本知的障害者福祉協会意思決定支援委員会委員長

(公財)日本知的障害者福祉協会政策委員会委員

田 口 道 治 氏

2. 第1回日中活動支援部会、生産活動・就労支援部会 合同施設長会議(研修)

期 日 平成29年7月11日

会 場 広島県社会福祉会館 会議室1

参加者 20人

内 容 ① 研修会計画について

② 今後の活動について

③ 情報(意見)交換

3. 平成29年度ビジネスマナー研修

日中活動支援部会、生産活動就労支援部会(合同)

期 日 ①平成29年6月10日 ビジネスマナー研修

②平成29年7月22日 クレーム対応研修

会 場 ①エム・シー福山 4階 会議室F

②広島県社会福祉会館 会議室

参加者 27人

講 師 M o r i t a キャリアプランニング 森田 ひとみ 氏

4. 日中活動支援部会 職員研修会

期 日 平成29年11月9日
会 場 広島県社会福祉会館 会議室1
参加者 50人
内 容 強度行動障害について
講 師 独立行政法人 国立病院機構
賀茂精神医療センター
療育相談担当 児童指導員
元山 淳 氏

5. 平成29年度 日中活動支援部会 全国大会

期 日 平成29年12月12日・13日
会 場 TOC 有明コンベンションホール

6. 日中活動支援部会、生産活動・就労支援部会 合同施設長会議(研修)

期 日 平成30年2月7日
会 場 広島県社会福祉会館 会議室4
参加者 18人
内 容 ①2018年度事業計画について
②役員改選
③情報(意見)交換

7. 日中活動支援部会

期 日 第1回 平成29年 5月22日
第2回 平成29年 7月18日
第3回 平成29年10月23日
第4回 平成30年 1月17日
会 場 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 会議室

事業総括

平成29年度活動方針に基づき、重度・高齢者など一人ひとりの意思決定の可能性を大切に活動支援をするため、意思決定支援について研修会(3部会合同)と、強度行動障害について研修会を実施することが出来た。今後の課題として、日中活動支援の向上を図るため、研修内容や情報の収集・分析に努め、更なる活動に繋げていく。

■生産活動・就労支援部会

方針：今回の報酬改定により就労定着支援ではより長期継続した就労支援、A型は平均労働時間、B型は平均工賃実績に応じた基本報酬となった。

また、就労継続支援事業においては、工賃向上に向けた研修を実施してきたが、30年度以降も継続して工賃向上計画策定が求められており、より一層の実績をあげる取組みが課せられている。

これらに対し、就労系事業所が連携して情報共有、研修などを行っていく。

1. 職員研修会

(日中活動支援部会、就労支援部会、地域支援部会 3部会合同研修会)

日時 平成29年6月7日
場所 広島県社会福祉会館
参加者 49人
内容 意志決定支援について
講師 あゆみの家 総合施設長 田口 道治氏

2. 職員研修会

(日中活動支援部会、就労支援部会 合同研修会)

日時 平成29年6月10日
場所 エム・シー福山
参加者 会員13人
内容 ビジネスマナー研修
講師 Morita キャリアプランニング 森田 ひとみ氏

3. 第1回施設長・管理者会議

(日中活動支援部会、就労支援部会 合同会議)

日時 平成29年7月11日
場所 広島県社会福祉会館
参加者 20人
内容 29年度活動内容、情報・意見交換

4. 職員研修会

(日中活動支援部会、就労支援部会 合同研修会)

日時 平成29年7月22日
場所 広島県社会福祉会館
参加者 会員14人
内容 クレーム対応研修
講師 Morita キャリアプランニング 森田 ひとみ氏

5. 就労支援部会、就労振興センター 合同研修会
日 時 平成29年11月14日
場 所 広島県社会福祉会館
参加者 会員25人
内 容 工賃向上実践報告研修会
講 師 インサイト 代表取締役 関原 深氏
Re-Live 副理事長 北野 喬士氏
6. 就労支援部会、就労振興センター 合同研修会
日 時 平成30年1月15日
場 所 東区地域福祉センター
参加者 会員35人
内 容 「個別支援計画配慮型」工賃向上計画策定研修
講 師 インサイト 代表取締役 関原 深氏
7. 第2回施設長・管理者会議
(日中活動支援部会、就労支援部会 合同会議)
日 時 平成30年2月7日
場 所 広島県社会福祉会館
参加者 18人
内 容 30年度事業計画、情報・意見交換

事業総括

昨年度同様、施設長・管理者会議、研修会を日中活動支援部会と合同で行った。高工賃、先進事例に学ぶ研修会や情報交換会を開催した。

今後はパート職員対象（一般職員も含む）の研修も視野に入れて、より支援力の充実を図っていきたい。

■地域支援部会

方針： 重度・高齢化が進むなか、住み慣れたグループホームで安心して暮らしていけるよう、様々な支援を切れ目なく提供できる仕組みづくりをしていく必要から、可能な限り、本人の意思や自己決定など意思決定支援のスキルアップを目指して部会活動を進めていく。また、グループホーム事業・居宅事業の研修を実施しアセスメント力を高めていく。

さらに、関係組織・団体等の連携に努め、地域における暮らし、相談支援体制の充実に向けてのネットワークづくりを進めていく。

1. 地域支援部会会議・研修会

(1) 時 期 : 平成29年6月7日

場 所 : 広島県社会福祉会館

参加者 : 49人

内 容 : テーマ「意思決定支援」について

講師:田口 道治 氏

(2) 時 期 : 平成29年8月25日

場 所 : 福山すこやかセンター

参加者 : 5人

内 容 : 1.平成29年度地域支援部会の活動について

2.「意思決定支援」を深める

- ・現場での重要性
- ・意思決定支援ガイドブック
- ・持ち寄り意見交換

(3) 時 期 : 平成29年11月29日

場 所 : 福山すこやかセンター

参加者 : 4人

内 容 : 1.暮らしの中の意思決定支援

2.行動援護従業者養成研修について

3.地域支援部会活動について

(4) 時 期 : 平成30年1月31日

場 所 : 福山すこやかセンター
参加者 : 8人
内 容 1.平成28年度事業総括について
2.平成30年度事業計画について
3.行動援護従事者養成研修について
4.中国地区各県地域支援部会代表者会議報告

2. 東部地区・西部地区ブロック「もみじ会」の開催

(1) 東部地区ブロック「もみじ会」新春の集い

時 期 : 平成30年1月14日
場 所 : 福山ニューキャッスルホテル
参加者 : 157人
内 容 : グループホームの紹介、交流会等

(2) 西部地区ブロック「もみじ会」ひな祭りの集い

時 期 : 平成30年3月11日
場 所 : 広島サンプラザ
参加者 : 45人
内 容 : グループホームの紹介、交流会等

3. 研修会の開催

(1) 広島県知的障害者福祉協会居宅介護従事者養成研修 (行動援護従事者養成研修課程)

時 期 : 平成30年2月2日・3日・23日・24日【4日間】
場 所 : 福山すこやかセンター
参加者 : 72人

講義 10 時間・演習 14 時間 計 24 時間

科目名		時間数	備考	
講義 10 時間	1	強度行動障害がある者の基本的理解に関する講義	2.5	基礎研修
	2	強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識に関する講義	3.5	基礎研修
	3	強度行動障害がある者へのチーム支援に関する講義	2	実践研修
	4	強度行動障害と生活の組み立てに関する講義	2	実践研修
演習 14 時間	1	基本的な情報収集と記録等の共有に関する演習	1	基礎研修
	2	行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解に関する演習	2.5	基礎研修
	3	行動障害の背景にある特性の理解に関する演習	2.5	基礎研修
	4	障害特性の理解とアセスメントに関する演習	2.5	実践研修
	5	環境調整による強度行動障害の支援に関する演習	3.5	実践研修
	6	記録に基づく支援の評価に関する演習	1	実践研修
	7	危機対応と虐待防止に関する演習	1	実践研修

事業総括

今年度、地域支援部会として世話人、生活支援員、ヘルパーの基本とも言える「意思決定支援」をテーマに研修を重ねてきました。十分とは言えないまでも、参加していただいた会員の方々には、確認という成果はあったように思われる。居宅介護従事者養成研修については、引き続き実施させて頂きましたが、受講者・講師ともに大変忙しいところありがとうございました。次年度には、さらに深めていくために、事例検討の研修を進めていきたいという意見が多くありました。

■相談支援部会

方針：相談支援事業は、計画相談の完全実施から3年が経過し、現在は、相談支援の質の向上が求められています。昨年度、厚生労働省で、「相談支援の質の向上に向けた検討会」が行われ、その議論の取りまとめが出されました。その内容を受けて、相談支援部会では、昨年度実施した相談支援事業所の実態調査を基に、質の向上とスキルアップを目的とした研修会を行います。また、相談支援専門員同士の連携等も希薄になっている現状も踏まえ、研修会を通じて、意見交換や情報交換等の連携を深めることにより、相談支援専門員の孤立感やバーンアウトを防ぎ、相談支援専門員が元気に明るく、障害をお持ちの方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていくための支援を行えるように取組む。

1 相談支援定例部会

【第1回】

期 日：平成29年4月27日

会 場：広島県社会福祉会館会議室8

参加者：12人

内 容：議題1 自己紹介（新加盟事業所があったため）
議題2 平成29年度部会活動について
議題3 障害福祉サービス等報酬改定に対する要望取りまとめ
議題4 情報交換（今後の制度方針情報・各地域・事業所）

【第2回】

期 日：平成29年6月23日

会 場：広島県社会福祉会館会議室8

参加者：14人

内 容：議題1 第1・2回研修会（広島及び福山会場）の内容及び日程調整
議題2 情報交換（今後の制度方針情報・各地域・事業所）及び事例検討

【第3回】

期 日：平成29年8月18日

会 場：広島県社会福祉会館会議室8

参加者：12人

内 容：議題1 研修会（広島及び福山会場）の具体的内容について
議題2 情報交換（今後の制度方針情報・各地域・事業所）

【第4回】

期 日：平成29年10月5日

会 場：広島県社会福祉会館会議室8

参加者：14人

内 容：議題1 研修会（広島会場）準備と当日の役割分担について
議題2 情報交換（今後の制度方針情報・各地域・事業所）

【第5回】

期 日：平成29年12月1日

会 場：広島県社会福祉会館会議室8

参加者：12人

内 容：議題1 研修会（広島会場）の振返り
議題2 研修会（福山会場）の役割分担
議題3 情報交換（今後の制度方針情報・各地域・事業所）

2 部会総括会議

期 日：平成30年2月8日

会 場：広島県社会福祉会館会議室8

参加者：12人

内 容：議題1 研修会（福山会場）の振返り
議題2 平成29年度相談支援部会活動の振返り
議題3 平成30年度事業計画案について協議・検討
議題4 情報交換（今後の制度方針情報・各地域・事業所）

3 相談支援部会研修会

【第1回】

期 日：平成29年10月13日

会 場：広島市東区民文化センター

参加者：76人

【第2回】

期 日：平成29年12月15日

会 場：福山市すこやかセンター

参加者：52人

内 容：「包括的な相談支援の展開と質の向上に向けた研修のあり方について」

講師 富岡貴生 氏

（特定非営利活動法人かながわケアマネジメント従事者ネットワーク理事長，社会福祉法人 唐池学園貴志園施設長，日本知的障害者福祉協会相談支援部会副部会長）

事業総括

平成28年度に実施した県内知的障害者福祉協会加盟法人内相談支援事業所を対象に行ったアンケート結果を基に、ニーズの高かった内容の研修を実施した。また、平成29年度より、知的障害者福祉協会加盟の法人の相談支援事業所又は相談支援部会に加盟する相談支援事業所の相談支援専門員を対象にするのではなく、広島県内の相談支援専門員全員を対象として実施した結果、広島県内で相談支援に特化した研修を実施したこと、県内2箇所で開催したこと等好評で、研修終了後のアンケートでも、毎年このような研修を実施してほしいとの声が多かった。広島県知的障害者福祉協会が主催して相談支援の質の向上と相談支援専門員のスキルアップの向上に寄与できることは非常に意義深いことであるため、平成30年度以降も実施していく予定である。

相談支援部会定例会については、事例検討会も予定をしていたが、平成29年度は、あまりできなかったため、平成30年度は、相談支援部会に参加する相談支援事業所と相談支援専門員の質の向上とスキルアップを目指して、事例検討会を積極的に取組みたい。

■支援スタッフ部会

方針： 知的な障害のある方々に、最も身近に支援にかかわる私達支援スタッフは、サービス提供における必要な視点をお互いに確認しながら、資質の向上に努める。

多くの支援スタッフが参加できる圏域会議の開催を重点目標とする。支援情報の交換やサービス提供の実地見学等を通して支援技術等の向上に努める。多くの知的な障害のある方々の生き方の支えになる取り組みをおこなう。

1. 支援スタッフ部会活動

(1) 第1回支援スタッフ部会議

期 日：平成29年6月13日

会 場：優輝福祉会 コージーガーデン

参加者：22人

内 容：①支援スタッフ部会の活動について

②施設見学（ともいきの里・コージーガーデン）

③グループワーク（障害福祉施策に対する要望を考える）

④理事会報告

(2) 第2回支援スタッフ部会議

期 日：平成29年9月22日

会 場：さいき文化ホール

参加者：18人

内 容：①施設見学（くさのみ作業所・友和の里）

②グループワーク（販売戦略を考える）

③製品紹介

④理事会報告

(3) 第3回支援スタッフ部会議

期 日：平成29年12月8日

会 場：若葉 因島であいの家

参加者：22人

内 容：①施設見学（はばたき）

②グループワーク（A型事業所倒産が利用者にも与える影響を考える）

③理事会報告

(4) 第4回支援スタッフ部会議・総会

期 日：平成30年2月28日

会 場：障害者支援施設 いくせい

参加者：22人

内 容：①役員改選

②グループワーク（福祉の理念を胸に歩む）

③理事会報告

2. 保健福祉圏域活動

(1) 第1回福山・府中保健福祉圏域会議

期 日：平成29年9月21日

会 場：一れつ会

参加者：20人

内 容：①施設見学
②試食勉強会
③グループワーク「権利擁護について」
④その他

(2) 第2回福山・府中保健福祉圏域会議

期 日：平成29年12月19日

会 場：にこにこ福祉会

参加者：15人

内 容：①施設見学
②試食勉強会
③グループワーク「販売戦略」
④その他

(3) 第1回広島中央・呉保健福祉圏域会議

期 日：平成29年11月15日

会 場：野呂山学園

参加者：8人

内 容：①施設見学
②講演『権利擁護と意思決定支援
～これまでの取り組みを踏まえながら～』
講師六方学園 相談支援事業所 相談支援専門員 中島武 氏

(4) 第2回広島中央・呉保健福祉圏域会議

期 日：平成29年3月7日

会 場：広島県立障害者リハビリテーションセンター
スポーツ交流センターおりづる

参加者：8人

内 容：①障害者スポーツ体験（車椅子バスケット・ボッチャ・カローリング）
②意見交換会

(5) 第1回広島・広島西・備北保健福祉圏域会議

期 日：平成29年7月20日

会 場：障害者支援施設いくせい

参加者：12人

内 容：①施設見学
②グループワーク『権利擁護について』

(6) 第2回広島・広島西・備北保健福祉圏域会議

期 日：平成30年1月31日

会 場：皆賀園

参加者：12人

内 容：①施設見学

②グループワーク『グリーゼン支援の検証』

③試食勉強会『皆賀園クッキー』

(7) 第1回尾三保健福祉圏域会議

期 日：平成29年10月13日

会 場：若葉 因島であいの家

参加者：11人

内 容：①支援スタッフ部会議の内容報告

②尾三圏域支援スタッフ部会の活動について

③ボッチャ体験

④権利擁護に関するグループワーク

(8) 第2回尾三保健福祉圏域会議

期 日：平成30年3月15日

会 場：若葉 因島であいの家

参加者：6人

内 容：①広島県支援スタッフ部会議の内容報告

②尾三圏域支援スタッフ部会の活動について

③権利擁護に関するグループワーク

④情報交換

3. 研修会

期 日：平成30年2月28日

会 場：障害者支援施設いくせい

参加者：22人

内 容：講 演『福祉の現場に立つ私たちの誇りと使命』

講 師：ひとは福社会 理事長 寺尾文尚 氏

事業総括

年4回の支援スタッフ部会議では、下記の点に力を入れた。

- ・今日の障害福祉における課題についてグループワークを通して考える。
- ・他施設の見学を通してスタッフ一人一人の知識を深め、支援の幅を広げる
- ・情勢報告を通して、支援スタッフが障害福祉の動向を知る機会を作る。

圏域会議では、人権倫理委員会と連携し、権利擁護に関する情報を支援スタッフ間で情報共有できるように心がけた。また、各圏域副部長を中心に支援スタッフとして知りたい情報や必要な知識を深めるために施設見学や講演、情報交換会などを開催した。

研修会では、ひとは福社会理事長寺尾文尚様を講師としてお招きし、権利擁護に関するご講演を頂いた。

来年度は引き続き、人権倫理委員会、心に残るちょっといい本音の話編集委員会と連携を図り、支援スタッフの人権に関する資質の向上のために協力しながら活動を行っていく。

業務部会

■政策・調査・研究部会

方針：障害者福祉に関わる制度等が大きく変わろうとしている中で、それに対応し得る情報収集と検証に努め、会員施設・事業所の状況・課題や意見の集約を図ることで、当協会としての政策提言に繋げていきたい。

また、課題解決のための調査・研究を実施する。特に、広島県身体障害者施設協議会と引き続き連携しながら、「高齢の障害者に対する支援の在り方」などの共通課題についての意見交換や共同での調査・研究活動を進めていく。

1. 「広島県への予算・政策要望」の取りまとめ

平成29年8月

2. 障害者総合支援法改正並びに報酬改定案に関するパブリックコメントの集約と提出

平成30年1月

3. 第1回政策・調査・研究部会会議

期 日：平成29年6月5日

会 場：広島県社会福祉会館

内 容：・障害者総合支援法改正、報酬改定等についての意見・情報交換
・部会の取り組みについて 他

参加者：政策・調査・研究部会員（6人）

第2回政策・調査・研究部会会議

期 日：平成30年1月5日

会 場：東広島芸術文化ホール

内 容：・障害者総合支援法改正、報酬改定等についての意見・情報交換
(パブリックコメント案の取りまとめ)

・部会の取り組みについて 他

参加者：政策・調査・研究部会員（4人）

4. 広島県身体障害者施設協議会・広島県知的障害者福祉協会意見交換会

期 日：平成29年7月11日

会 場：広島県社会福祉会館

内 容：・障害者総合支援法改正やそれぞれの課題等についての意見・情報交換

・今後の取り組みについて 他

参加者：8人（福祉協会5人、身障協3人）

事業総括

「広島県への予算・政策要望」に対する会員事業所から意見・要望等を集約し、広島県知的障害者福祉協会の要望として取りまとめた。また、「障害者総合支援法改正や報酬改定についての意見取りまとめをし、厚労省へのパブリックコメントを提出した。今後も情報提供並びに意見集約をし、政策提言等に繋げていきたい。

広島県身体障害者施設協議会（調査・研究部会、研修部会）との意見交換会も行ったが、共同での取り組みが実現しなかったため、次年度の課題となった。

調査研究についても次年度は、課題解決につながるような取り組みをしていきたい。

■人権・倫理部会

方針：障害者虐待防止法に続き、昨年4月に障害者差別解消法が施行されました。

そうした中、厚生労働省の調査によると、平成26年度に確認された障害者への虐待は、前年度より増加したとのことでした。さらに、昨年7月26日に神奈川県相模原市の障害者支援施設で起きた殺傷事件など、障害者に対する虐待事件や人権侵害が全国各地で起きており、厳しい課題が突きつけられています。殺傷事件の真相は未だに解明されていませんが、二度とこのようなことを繰り返させないためには、事件を風化させないことです。

そのためには、福祉の現場にいる職員が、この問題に対し振り返り、問いかけることによって、人権感覚を身につけることが必要です。

障害があってもなくても、すべての人々が生まれながらに持つ権利である人権が、ごく普通に受け入れられる環境づくりを構築していきたいと思えます。

1 出前講座

期 日 施設要望日

会 場 各施設

参加者 30人～100人

内 容

(1) 気づかない人権侵害に気づき、尊厳を守るために

～障害のある当事者の立場から～

講師 大元 誠司 氏

(2) 福祉の現場に立つ職員の誇りと使命

講師 寺尾 文尚 氏

実施回数 計5回

2 人権・倫理研修会「命のバトンリレー」

期 日 平成29年8月25日

会 場 広島市手をつなぐ育成会

参加者 21人

内 容 ①シンポジウム

テーマ ～命のバトンリレー～

シンポジスト 藤田美津代 氏・藤長美幸 氏・橘治子 氏

②グループワーク

③生き生きアクティビティ

テーマ ～障害者の方々と過ごす時を重ねて～

講 師 奥田 祐子 氏 (他2人 ギター奏者・ボーカル)

事業総括

(出前講座)

会員施設職員の人権意識の向上を図るため、各施設の求めに応じて実施しました。実施回数は計5回で、昨年度の計17回から大幅に減少しました。その理由を解明し、講座実施回数の増加をめざし内容等を検討する必要があります。

(人権・倫理研修会)

私たちは、障害がある、なし、又できる、できない等にとらわれることなく、人の多様性を認め、共に支え合い生活する社会をめざして知的障がいのある人の人格と個性を尊重し、平等に権利を有することを再確認し、一人ひとりが社会にとって必要な存在であることを強く認識することが必要であるということで、広島市手をつなぐ育成会の3人の母親をシンポジストとしてお招きし「命のバトンリレー」と題して、お話をさせていただきました。

次に、このお話を題材にして、グループワークを行いました。参加者は、支援という仕事の原点を探り、確認し意識を高めることができたのではないかと思います。

最後に、「障害者の方々と過ごす時を重ねて」と題して、NPO法人「いきいきアクティビティサービス理事長の奥田祐子さんとその仲間の皆さんによって、日々のレクリエーション支援やコンサート活動の中で感じたことを、歌と語りで表現をさせていただきました。

多様性に富んだ今回の研修会は、参加者の皆さんにとって実りのある研修会になったのではないかと思います。

(人権・倫理に関する冊子の作成)

資料等が概ね整いましたので、冊子の作成に取り組みます。

(実行委員会活動の充実を図る)

実行委員会の活動として支援スタッフ部会との連携を図ることができました。今後も連携の強化を図り、会員施設職員の人権に関する資質の向上を図る必要があります。

(人権侵害等の報告に対する対応を検討する会)

人権・倫理に関する事業の報告がありました。個人情報保護法等を遵守しながら迅速に検証しました。

人権・倫理部会を適宜開催して、現地調査も実施しました。

本協会全体で課題を共有し、再発防止に取り組みました。

■ 人材育成・研修部会

方針：元気をはぐくむ職員基礎講座は、平成28年度で第5回目の研修企画となった。新任・若手職員の研修の場として定着していることと、若手職員による実践発表の場として大きな役割を果たしており、継続した取り組みとしたい。

また、福祉の現場のみならず、あらゆる業界で人材が不足する中で、事業の継承と次世代のリーダーを育成することが共通の課題である。超少子高齢化の時代を迎え、労働人口が減少していく中で人材の確保と育成について考える。平成29年度は、次世代の「若手リーダー」の育成を目指した研修会等を行う。

1. 第2回リーダー育成研修

期 日：平成29年8月24日

会 場：広島県社会福祉会館 第1・2会議室

講 師：中小企業診断士 松本 富雄 氏

参加者：40人 ※部会員5人含む（定員50人）

2. 第6回 元気をはぐくむ新任職員基礎講座

期 日：平成29年12月22日

会 場：広島県社会福祉会館 第1・2会議室

参加者：63人 ※部会員5人含む（定員70人）

内 容：実践発表

【発表者】

① 児童入所 障害児入所施設 庄原さくら学園 清原 裕美子 氏

② 児童通園 児童発達支援センターひかり園 杉之原 加奈 氏

③ 障害者支援施設 障害者支援施設 原 佐々木 帆嵩 氏

④ 日中活動支援 多機能型事業所あさひ 早坂 駿平 氏

⑤ 地域生活支援 生活介護事業所 つつじ 青滝 弘樹氏

グループワーク 「やる気スイッチを探そう！」

基礎講座

演題：社会福祉施設で働く職員としての心構えと権利擁護

講師：寺尾 文尚氏 社会福祉法人 ひとほ福祉会 理事長

広島県知的障害者福祉協会 監事

事業総括

昨年度に引き続き、次世代を担うリーダー育成研修を実施した。経営に関する知識やリーダー論に関する研修であったが、参加者の意識も高く好意的な意見が多くみられ、概ね目的を達成できた研修が企画できた。

又、現場で働くスタッフの職場定着と育成を目指し、元気をはぐくむ新任職員基礎講座を継続して取り組んでいる。若手職員の実践発表を通して、他の事業所における取組みを学び、自覚と誇りを大切に持ち続けて欲しいと願う。

■事業部会

方針：文化・芸術活動の部

障がいのある人たちの文化・芸術の振興を図るために、会員事業所から生まれる障がいのある人たちの作品や様々な活動を紹介し、このことに携わる会員スタッフ（専門支援者）の育成を図る。また、広島県主催の「あいサポート・アート展・ふれあいフェスタ」開催に参画し、ひいては、東京オリンピックで併催される文化芸術の部への参加を目指すとともに、障がいのある人たちの権利擁護と会員の資質向上を目的に「心に残るちょっといい本音の話」（第9号）を発行する。

文化・芸術活動の部

1. 研修会・作品展開催に向けて

(1) 第1回実行委員会（地区代表及び圏域委員会）

日時：平成29年4月12日

会場：広島市南区地域福祉センター

内容：第4回「どや！〇〇じゃろ」展、第2回「わたしは花」展開催について

地区代表：西部：ひとは福祉会・太田川学園， 中部：野呂山学園

東部：創樹会・「ゼノ」少年牧場

圏域委員：広島：光清学園 広島西：友和の里・くさのみ作業所

広島中：西志和農園

呉：かしの木 尾三：因島であいの家 福山・府中：大日学園

備北：もみじ園

(2) 第2回実行委員会

日時：平成29年6月14日

会場：広島県社会福祉会館

内容：作品展について

(3) 第3回実行委員会

日時：平成29年7月14日

会場：広島市南区地域福祉センター

内容：作品展最終確認について

研修会・先進地視察、あいサポートアート展について

(4) 第4回 実行委員会

日時：平成29年10月5日

会場：グリーンヒル郷原

内容：作品展反省、研修会について、野呂山学園施設見学、

情報交換会

- (5) 第5回 実行委員会（地区代表及び圏域委員会）
日時：平成29年11月30日
会場：ひとは工房 ささき亭
内容：ひとは工房施設見学、研修会について
- (6) 第6回 実行委員会（地区代表及び圏域委員会）
日時：平成30年2月14日
会場：広島市まちづくり市民交流プラザ3階
内容：視察研修会反省、平成30年度事業計画について
- (7) 第2回 わたしは花展 開催
日時：平成29年8月3日～8日
会場：ギャラリー宮郷、タムカイマ（宮島）
作品数：49点
第4回 作品展「どや、〇〇じゃろ！」開催
日時：平成29年9月3日～18日
会場：鞆の津ミュージアム（福山）
作品数：118点
来館者：435人
- (8) 先進地視察研修会開催
日時：平成30年1月25・26日
視察地：やまなみ工房（滋賀県甲賀市）
ボーダレス・アートミュージアム NO-MA（滋賀県近江八幡市）
みずのき学園（京都府亀岡市）

2. 「心に残るちょっといい本音の話」第10集の発行

編集委員 寺尾文尚 原口 真 彌政慎一 川本 靖 西本博義 川本
義弘 平岡辰士 西山堅太郎 スタッフ部会代表
編集会議：平成30年1月24日・2月14日

発行：平成30年5月 平成30年度第1回総会で配布

3. 広島県主催の あいサポートアート展 あいサポートふれあいコンサート開
催に協力・参加（作品審査・作品展示作業協力・作品展会場係・コンサ
ート運営会議）

*広島地区からもあいサポートアート展作品審査員に羽鳥智裕氏（太田川学
園）を推薦し、広報にも協力した。

あいサポートアート展

平成29年10月31日～11月5日 広島県立美術館

平成29年12月19日～24日 ふくやま美術館

あいサポートふれあいコンサート

平成29年10月9日

広島市東区民文化センター

事業総括

この活動は、年を追うごとに参加施設も増え活発になってきた。特に、二度にわたって開催される作品展には出展数が多くなり、そのジャンルも多彩になっている。また、県外研修で訪問した京都地区の三事業所では日々の作品制作のみならず、障がいのある人たちへの支援の様子や考え方など多くの事を学ばせてもらった。近年、多くの事業所で創作活動を重視する機運が生まれていることは、障がいのある人たちの生活に豊かな彩りが加味される姿が想像され、その作品も衆目を集める機会が多くなってきている。「心に残るちょっといい本音の話」は9刊目の発刊を終え、会員事業所のみならず関係機関にも配布しているが、県福祉協会内での活用や位置づけが不明であり、投稿数が伸び悩む点に苦慮している。ただ、支援スタッフ部会の協力によるコメントには同じ目線での感想や激励、助言がつづられ、誌面を明るく元気なものにする力があり、編集者一同感謝している。県主催のあいサポートアート展やあいサポートふれあいコンサートにも協会として作品審査、展示、受け付け、会場整理、広報などの協力を続けている。

■事業部会

方針：スポーツの部

スポーツを通して障がいのある人たちの健康増進と交流を目的とし、各種スポーツ大会を開催する。
広島県障害者スポーツ協会との連携を図る。

1. 広島県障害者陸上競技大会

(1) 第11回 広島県障害者陸上競技大会 実行委員会

時期 平成29年4月19日
場所 広島県手をつなぐ育成会
内容 実行委員交代、大会設置要綱の改正
競技種目及び参加選手状況
大会及び競技の進め方等についての協議

(2) 第11回 広島県障害者陸上競技大会

時期 平成29年5月14日
場所 東広島運動公園陸上競技場

(3) 第11回 広島県障害者陸上競技大会 実行委員会

時期 平成29年6月6日
場所 広島県庁601会議室
内容 反省会及び全国障害者スポーツ大会についての協議

(4) 第12回 広島県障害者陸上競技大会 実行委員会

時期 平成30年1月25日
場所 広島県立総合体育館 中会議室
内容 実施要項(案)、収支予算(案)についての協議

2. 第17回全国障害者スポーツ大会「笑顔つなぐえひめ大会」

(1) 第17回全国障害者スポーツ大会リハーサル大会 兼 (ソフトボール競技)中国・四国ブロック予選会

時期 平成29年5月27日～5月28日
場所 松山中央公園運動広場

(2) 第17回全国障害者スポーツ大会

「笑顔つなぐえひめ大会」への参加

時期 平成29年10月28日～10月30日
場所 愛媛県総合運動公園陸上競技場

(開・閉会式、陸上競技)他

3. 知的障害関係施設親善球技大会（3ブロック）の実施

（西部） 時期 平成29年5月21日
場所 修道大学

（中部） 時期 平成29年5月20日
場所 東広島運動公園

（東部） 時期 平成29年6月4日
場所 広島県びんご運動公園

4. 第57回中国地区知的障害関係施設親善球技大会「鳥取大会」

（1）中国地区親善球技大会各県代表者会議

時期 平成29年7月6日
場所 東山運動公園（どらトラパーク米子）

（2）第57回中国地区知的障害者関係施設親善球技大会への参加

時期 平成29年9月23日
場所 東山運動公園（どらトラパーク米子）

5. 平成29年 ボウリンピック in 廿日市

時期 平成29年12月2日
場所 ミスズガーデン

事業総括

計画通り実施できました。

中国地区親善球技大会「鳥取大会」ではボッチャが正式競技となった。
平成31年度は広島県で中国地区親善球技大会開催予定のため、平成30年度は開催地区等検討していきたい。

■ 総務部会

方針：広島県知的障害者福祉協会の会員施設に有益な情報を発信するために、引き続きホームページを充実させると共に、メーリングリストによる情報提供を行い、協会の活性化に努める。また、継続して各支援部会や各福祉圏域内での情報や意見交換の推進を担うことを役割と位置づけ、予算管理や調整を図る。

さらに会員施設の各活動の推進として、必要に応じて広島県主催の行事等において役割を担い、有益性のある情報発信に努める。

1. 総務部会

期 日：平成29年4月24日

会 場：広島県社会福祉会館 会議室

参加者：2人

内 容：平成29年度事業計画について

2. ホームページの更新

期 日：随時（年間）

内 容：事業計画・事業報告・予算、決算報告、協会主催の研修案内、
作品及び原稿等の募集、行事等

3. 広島県主催の「介護の日」実行委員会の参加

期 日：平成29年5月～12月

内 容：会議の参加、開催日の役員と出店調整等

4. 第1回総会・研修会の実施

期 日：平成29年5月31日

会 場：広島ガーデンパレス

参加者：118人

内 容：「障害者施策 これからの動向」

講師：日本知的障害者福祉協会

政策委員会副委員長 河原 雄一 氏

5. 第2回総会・研修会の実施

期 日：平成30年3月13日

会 場：広島ガーデンパレス

参加者：124人

内 容：「30年度障害者福祉サービスと報酬改定について」

講 師：日本知的障害者福祉協会 事務局長 末吉 孝徳 氏

6. 圏域会議の推進 福山・府中圏域

期 日：平成29年6月～平成30年2月まで 8回開催

会 場：福山すこやかセンター等

参加者：延べ137人

内 容：広島県知的障害者福祉協会活動報告
圏域の活動について、情報交換
講演会「ストレスマネジメントについて」

尾三圏域

期 日：平成29年8月1日・平成30年1月19日

会 場：社会福祉法人 優輝福社会、みどりの町

参加者：延べ29人

内 容：広島県知的障害者福祉協会理事会報告
圏域の課題・要望について・役員改選

呉圏域

期 日：平成30年2月5日

会 場：呉市福社会館

参加者：4人

内 容：平成30年度事業計画・情勢報告・役員改選

広島中央圏域

期 日：平成29年11月24日、平成30年2月16日

会 場：東広島芸術文化ホール

内 容：広島県知的障害者福祉協会理事会報告
圏域の課題・要望について

広島圏域・広島西圏域と合同

期 日：平成29年6月27日、9月8日、11月14日、
平成30年2月20日

会 場：広島市手をつなぐ育成会(2回)、障害者支援施設原, もみじ福社会

参加者：延べ61人

内 容：親善球技大会、地域生活支援拠点、情勢等意見交換、役員改選等

事業総括

広島県知的障害者福祉協会ホームページの随時更新や内容の充実に努め、日本知的障害者福祉協会や国の動向等の情報発信や会員間の情報提供をメーリングリストも活用しながら、周知の徹底を図ることに努めた。

総会における研修は、会員のニーズにこたえる研修会を開催する事ができた。

「介護の日フェスタ」など広島県主催の行事等においては、実行委員会の一員として役割を担い、啓発活動にも積極的に参加した。

各圏域会議において予算管理は行ったが、それぞれの圏域で特徴を持った会議が開催されており、圏域の活性化のためにも取り組みの共有が必要であったが、その役割を果たすことができなかった。